

本市主催で開催された「原爆写真展」について



弓座 秀之 議員

一般質問



秋山 幸子 議員

本市主催で開催された「原爆写真展」について

質問・市民の願いでもあり、世

界で多くの人々が核兵器廃絶を求める中、大田原市に於いて初めて「原爆写真展」が市の主催で開催されました。市民ギャラリーで行われた「原爆写真展」の見学者数や反響について伺います。

答弁・見学者数につきましては8日間で253名でした。ご覧頂いた方の声として「凄惨な状況で心が痛んだ」「戦争の悲惨さを改めて知る事が出来た」など、開催の主旨に理解を示すものでございました。

況で心が痛んだ」「戦争の悲惨さを改めて知る事が出来た」など、開催の主旨に理解を示すものでございました。

質問・大田原市に於いても、戦没者は3436柱、尊い命が戦争で失われました。次の「原爆写真展」には、市民からの貴重な写真や資料なども加えた写真展で失われました。来年以降そういう点も加味しながら展示していただけます。

質問・大田原市に於いても、戦没者は3436柱、尊い命が戦争で失われました。次の「原爆写真展」には、市民からの貴重な写真や資料なども加えた写真展の同時開催で、市民がお互いに平和について語り合える会場

作りを提案します。

答弁・市の持つている資料を基に充実した形で展開できれば良いと考えています。市民からの声の中に「ちょっと休めるような椅子を置いて頂けるとありがたい」というご意見もございました。来年以降そういう点も加味しながら展示していただけます。

質問・現在大田原市ではプロスポーツ競技団体への支援を行っていますが、支援を行っている団体名及び金額について伺います。

答弁・本市では、サッカーのJ

2リーグに所属する栃木サッカーブリーチ、バスケットボールB1リーグに所属する宇都宮ブレーブス、自転車ロードレースの

プロツアーリに参戦する那須ブラ

ーゼンの3団体に対し支援費を支出しておられます。金額については、今年度栃木サッカーブリーチ及び宇都宮ブレーツクスは100万円、那須ブレーベンは50万円を計上しましたが、団体への経済的支援という初期目的を達成したとの考え方から、3団体とも50万円といたしました。

質問・支援費を支出する目的と

メリットについて伺います。

答弁・プロフェッショナルスポーツ団体支援費は、市と連携し

スポーツの振興と青少年の健全育成、地域との交流を図るなど市の活性化に寄与する事が確実と見込まれる県内に本拠地を置くプロフェッショナルスポーツ団体を対象に交付するものです。

プロ競技団体との連携交流により、地域の活性化が図られてきたと受けとめています。